

畜産経営体質強化計画書  
エクセルシステム  
年次更新用

操作説明書

# 目次

<a href="#">I. ご使用になる前に</a>	.....	<a href="#">P1</a>
<a href="#">II. 起動手順</a>	.....	<a href="#">P2</a>
<a href="#">III. 年次更新</a>	.....	<a href="#">P4</a>
<a href="#">III. 年次更新 例</a>	.....	<a href="#">P7</a>

## I. ご使用になる前に

---

この操作説明書では、前年度に作成した計画書エクセルシステムを基に当年度計画書エクセルシステムを作成する手順や注意事項を説明しています。

例として『畜産経営体質強化支援資金』で令和元年度計画書（DC80\_R01中畜太郎.xlsx）を年次更新し、令和2年度計画書（DC80\_R02中畜太郎.xlsx）を作成します。

●**計画書エクセルシステムを使用する上で以下の事を必ず守って下さい。**

1. エクセルソフトのバージョンはExcel2013以降を使用して下さい。

それ以前（～Excel2010）では、動作しません。

2. 他にエクセルが起動していない事を確認してから使用して下さい。

計画書エクセルシステム以外にエクセルが起動していると、正常に動作しない場合があります。

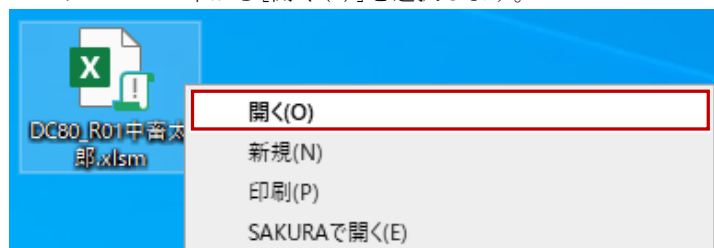
必ず他にエクセルが起動していない事を確認してから使用して下さい。

## II. 起動手順

ここでは、計画書エクセルシステムの起動手順を説明します。

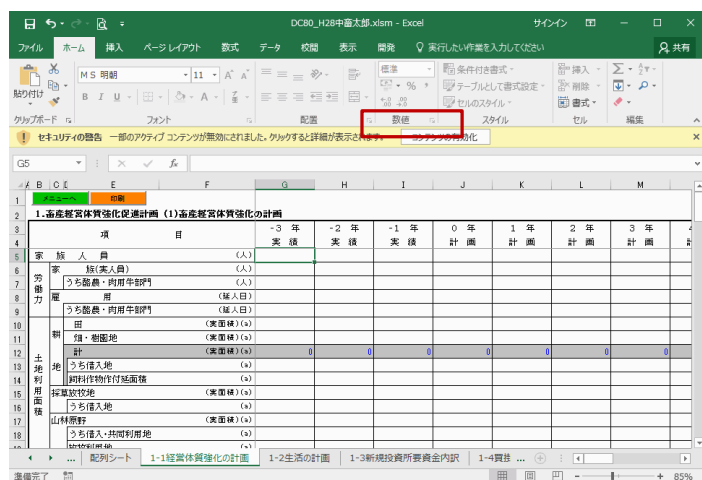
### 1. 計画書エクセルシステムの起動

- 1) 『II. 新規作成手順』で作成したファイル (DC80\_R01中畜太郎.xlsx) を開きます。
  - (1) DC80\_R01中畜太郎.xlsxを選択し、マウスの右ボタンを押してメニューを表示させます。メニューの中から[開く(O)]を選択します。



### 2) マクロの有効化

- (1) 以下の様なセキュリティ警告のメッセージが表示されます。メッセージが表示されない場合は、『I. ご使用になる前に 2. マクロを使用できる状態に』を参照して下さい。



※一度ファイルの保存をするとセキュリティ警告のメッセージは表示されなくなります。

3) メインメニューの表示

The screenshot shows a software window titled "酪農・肉用牛「畜産経営体質強化計画書」Ver4.0 メインメニュー". The window contains several functional areas:

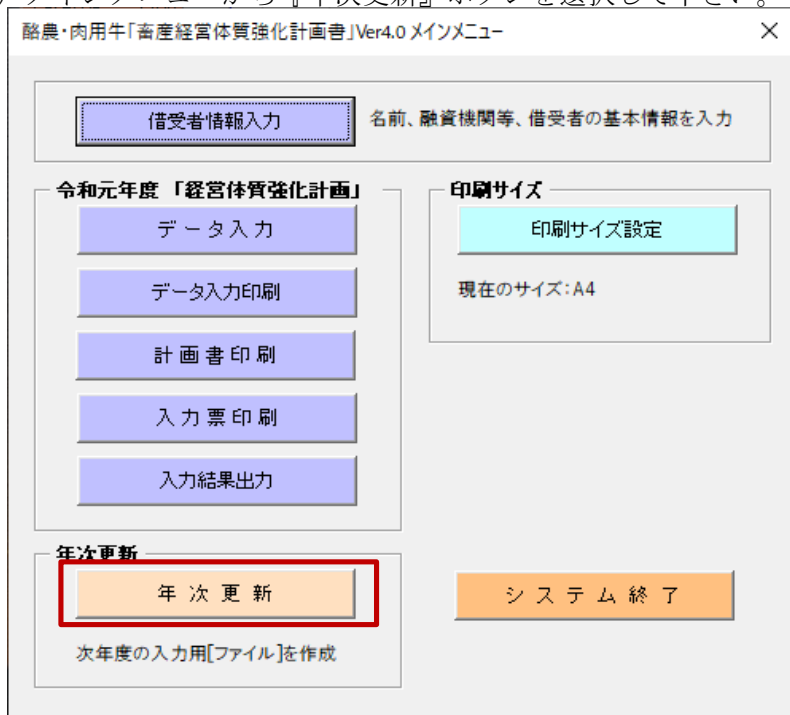
- 借受者情報入力** (Borrower Information Input): A button with a dotted border, accompanied by the text "名前、融資機関等、借受者の基本情報を入力" (Enter name, financing institution, etc., basic information of the borrower).
- 令和元年度「経営体質強化計画」** (Reiwa 1st Year "Business Quality Improvement Plan"): A section containing five blue buttons: "データ入力" (Data Input), "データ入力印刷" (Data Input Print), "計画書印刷" (Plan Book Print), "入力票印刷" (Input Form Print), and "入力結果出力" (Input Result Output).
- 印刷サイズ** (Print Size): A section containing a cyan button "印刷サイズ設定" (Print Size Setting) and the text "現在のサイズ:A4" (Current size: A4).
- 年次更新** (Annual Update): A section containing an orange button "年次更新" (Annual Update) and the text "次年度の入力用[ファイル]を作成" (Create input file for next year).
- システム終了** (System End): A large orange button at the bottom right.

### Ⅲ. 年次更新

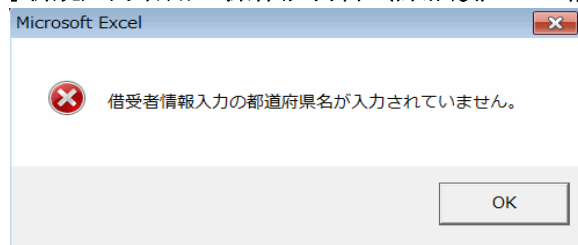
ここでは、計画書エクセルシステムの年次更新処理を実行する手順を説明します。

2. 年次更新処理を実行します。

1) メインメニューから『年次更新』ボタンを選択して下さい。



2) 次のメッセージが表示された場合、必須入力項目が入力されていません。  
『新規入力者用 操作説明書（詳細版）V. 借受者情報入力』を参照して下さい。

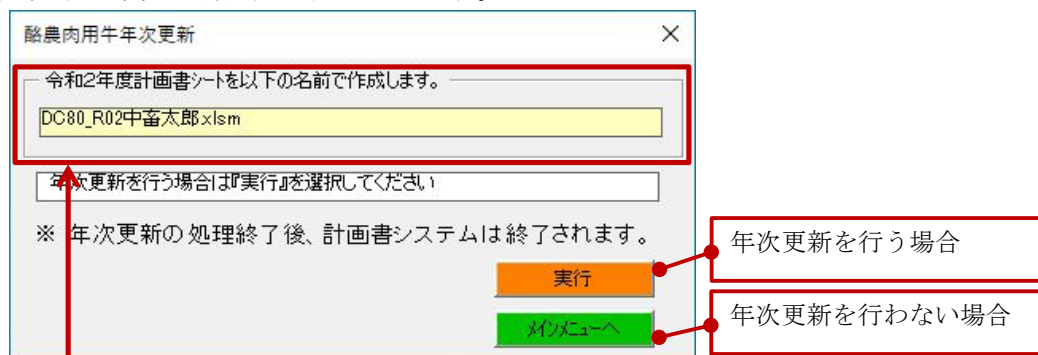


※項目は必須入力項目です。

- ①都道府県名
- ②融資機関コード
- ③経営者コード
- ④経営種類
- ⑤経営区分
- ⑥経営者氏名

※データ入力画面の1-1「1. 畜産経営体質強化促進計画 (1) 畜産経営体質強化の計画」において、労働力家族、雇用の両方が未入力の場合もエラーとなります。

3) 以下の年次更新画面が表示されます。



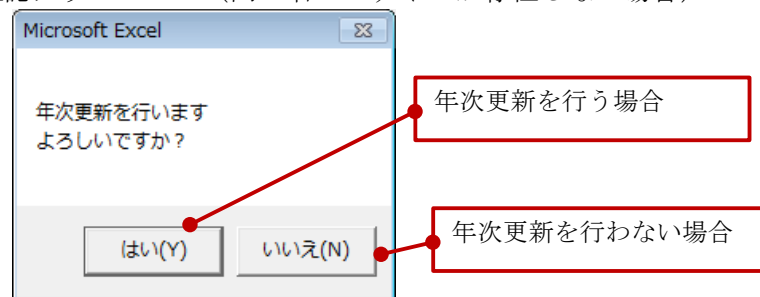
4) 『令和2年度計画書シートを以下の名前で作成します。』に表示されているファイル名で次年度用ファイルが作成されます。

- (1) ファイル名を確認して下さい。  
※ファイル名の変更は行えません。
- (2) 保存先は実行中の令和元年度計画書 (DC80\_R01中畜太郎. xlsm) と同一のフォルダです。  
※この説明書では『C:¥計画書エクセル¥』になります。

5) 年次更新処理を行わない場合は『メインメニューへ』ボタンを選択して下さい。メインメニューに戻ります。

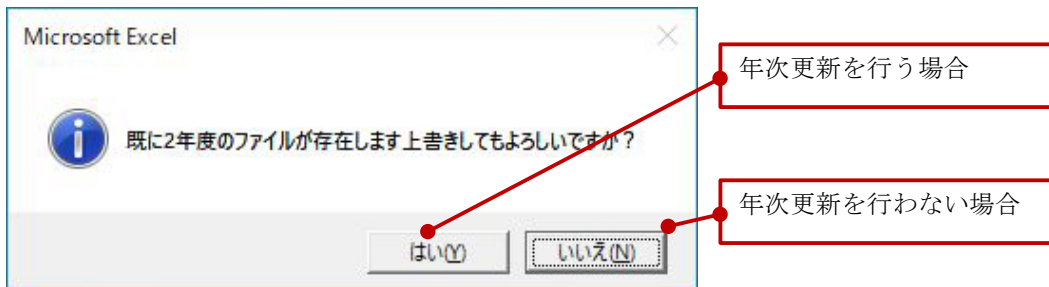
6) 年次更新処理を行う場合は『実行』ボタンを選択して下さい。  
確認メッセージが表示されます。

確認メッセージ1 (同一名のファイルが存在しない場合)



- (1) 年次更新を行う場合には「はい」を選択して下さい。
- (2) 年次更新を行わない場合は「いいえ」を選択して下さい。年次更新の画面に戻ります。

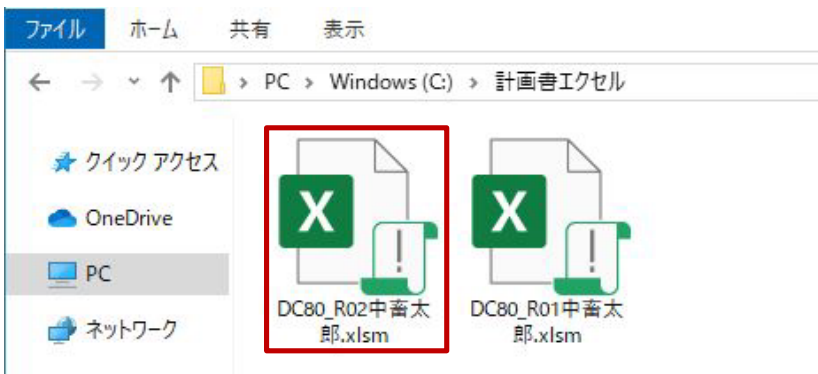
- 7) 保存先に既に令和2年度計画書 (DC80\_R02中畜太郎.xlsx) が存在する場合、以下の確認メッセージが表示されます。  
確認メッセージ2 (同一名のファイルが存在する場合)



- (1) 年次更新を行う場合には「はい」を選択して下さい。  
※令和2年度計画書 (DC80\_R02中畜太郎.xlsx) は上書きされます。  
(2) 年次更新を行わない場合は「いいえ」を選択して下さい。年次更新の画面に戻ります。
- 8) 年次更新処理が終了すると以下のメッセージが表示されます。



- 9) 令和2年度計画書 (DC80\_R02中畜太郎.xlsx) が作成されていることを確認して下さい。





### Ⅲ. 年次更新 例

3. 年次更新処理を行った時の次年度計画書エクセルファイルは以下のルールで作成されます。  
 (例は令和元年度計画書から年次更新を行い令和2年度計画書を作成した場合です)

- 1) 「年度」はシステムにより自動的にセットされます。
- 2) 前々年度及び前年度「実績」はそれぞれ該当年度の「実績」にコピーされます。
- 3) 「計画」はそれぞれ該当年度の「計画」にコピーされます。
- 4) 次年度ファイルの元年「実績」はクリアされて入力項目となります。

※以下の灰色の部分は自動計算項目か参照項目の為、入力はできません。

【令和元年度計画書 (DC80\_R01中畜太郎. xlsx)】

**1.畜産経営体質強化促進計画 (1)畜産経営体質強化の計画**

項 目		28年 実績	29年 実績	30年 実績	元年 計画	2年 計画	3年 計画	4年 計画
家	家族人員 (人)	1	2	3	4	5	6	7
労働力	家 族(実人員) (人)	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0
	うち酪農・肉用牛部門 (人)	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0
	雇 用 (延人日)	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0
	うち酪農・肉用牛部門 (延人日)	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0

【令和2年度計画書 (DC80\_R02中畜太郎. xlsx)】

**1.畜産経営体質強化促進計画 (1)畜産経営体質強化の計画**

項 目		29年 実績	30年 実績	元年 実績	2年 計画	3年 計画	4年 計画	5年 計画
家	家族人員 (人)	2	3		5	6	7	8
労働力	家 族(実人員) (人)	2.0	3.0		5.0	6.0	7.0	8.0
	うち酪農・肉用牛部門 (人)	2.0	3.0		5.0	6.0	7.0	8.0
	雇 用 (延人日)	2.0	3.0		5.0	6.0	7.0	8.0
	うち酪農・肉用牛部門 (延人日)	2.0	3.0		5.0	6.0	7.0	8.0

- 5) 経営者の年齢と後継者の年齢は自動的に1才アップします。  
(1)借受者情報入力

【令和元年度計画書 (DC80\_R01中畜太郎. xlsm)】

酪農・肉用牛借受者情報入力

※ 都道府県名 02 青森県 ※ 振興局名

市町村名 てすと市

※ 融資機関コード 1234

※ 農協名(融資機関名) てすと農協

※ 経営者コード 0000000001 ※ 経営者年齢 60

※ 経営者氏名 中畜太郎 (全角16文字)

※ 後継者有無 1 有り ※ 後継者年齢 30

※ 経営種類 10 酪農 ※ 経営区分 1 家族

※ 青色申告の有無 2 無し

< 以下、該当する項目にチェックを入れてください。 >

※  ① 畜産クラスター計画に位置づけられた中心的な経営体  
畜産クラスター協議会名: てすと協議会

※  ② 認定農業者

※ 「認定農業者」にチェックを入れた場合には、下欄に畜産クラスター計画に位置づけられた中心的な経営体となることができない合理的な理由を記入してください。

③ 簿記帳を行っている(又は行うことが確実と見込まれる)

※ 項目は必須入力です

登録 中止

【令和2年度計画書 (DC80\_R02中畜太郎. xlsm)】

酪農・肉用牛借受者情報入力

※ 都道府県名 02 青森県 ※ 振興局名

市町村名 てすと市

※ 融資機関コード 1234

※ 農協名(融資機関名) てすと農協

※ 経営者コード 0000000001 ※ 経営者年齢 61

※ 経営者氏名 中畜太郎 (全角16文字)

※ 後継者有無 1 有り ※ 後継者年齢 31

※ 経営種類 10 酪農 ※ 経営区分 1 家族

※ 青色申告の有無 2 無し

< 以下、該当する項目にチェックを入れてください。 >

※  ① 畜産クラスター計画に位置づけられた中心的な経営体  
畜産クラスター協議会名: てすと協議会

※  ② 認定農業者

※ 「認定農業者」にチェックを入れた場合には、下欄に畜産クラスター計画に位置づけられた中心的な経営体となることができない合理的な理由を記入してください。

③ 簿記帳を行っている(又は行うことが確実と見込まれる)

※ 項目は必須入力です

登録 中止

(2) 5-1 「1 経営体の概要」

【令和元年度計画書 (DC80\_R01中畜太郎. xls)】

融資機関名	てすと農協	後継者の有無 (年齢)	有	(30才)
借入希望者氏名 (年齢)	中畜太郎	(60才)	青色申告の有無	無

※後継者は現に酪農・肉用牛経営に従事していること

1 経営体の概要

労働力構成 (括弧内は、経営主の家族は続柄、それ以外は性別を記入)	年齢 (才)	酪農・肉用牛経営 の従事年数 (年)	年間従事日数 (日)
経営主 (本人)	60		

【令和2年度計画書 (DC80\_R02中畜太郎. xls)】

融資機関名	てすと農協	後継者の有無 (年齢)	有	(31才)
借入希望者氏名 (年齢)	中畜太郎	(61才)	青色申告の有無	無

※後継者は現に酪農・肉用牛経営に従事していること

1 経営体の概要

労働力構成 (括弧内は、経営主の家族は続柄、それ以外は性別を記入)	年齢 (才)	酪農・肉用牛経営 の従事年数 (年)	年間従事日数 (日)
経営主 (本人)	61		

6) 次のデータ入力画面の表側の『年度』は貸付年度の為、年次更新処理を行っても変更されません。

(1) 3-2 「3. 資金計画・(2)畜産経営体質強化支援資金借換額の内訳」

**3. 資金計画・(2)畜産経営体質強化支援資金借換額の内訳**

(単位：千円)

区 分	農業近代化資金	公庫資金	その他制度資金	農協系統一般資金	一般金融機関資金	計
28年度						0
29年度						0
30年度						0
元年度						0
2年度						0
3年度						0
4年度						0
5年度						0
6年度						0
7年度						0
8年度						0
合 計	0	0	0	0	0	0

貸付年度の為、変更されません

注1 借換額を資金別に記入する。

2 「4. 既往借入金年次別約定償還表」の資金用途欄をチェックし、酪農・肉用牛経営に係る資金であることを確認する。

(2) 5-3, 4 「3 畜産経営体質強化支援資金で借り換える資金の契約内容」

3 畜産経営体質強化支援資金で借り換える資金の契約内容

年	借換対象資金名	借入年(年)	金融機関名	資金の用途	前年末残高(千円)	当年約定償還額(千円)	約定償還月(月)	最終償還年(年)	今回借換額(千円)
28年									
	計								0
29年									
	計								0
30年									
	計								0
元年									
	計								0
2年									
	計								0
3年									
	計								0
4年									
	計								0
5年									
	計								0
6年									
	計								0
7年									
	計								0
8年									
	計								0

貸付年度の為、変更されません

(3) 5-3, 4 「4 新しい経営展開に伴い必要となる支出の内容」

4 新しい経営展開に伴い必要となる支出の内容

(1) 借入金

年	資金名	借入予定年(年)	金融機関名	資金の用途	借入予定額(千円)	年当たり借入総額(千円)	償還期間(うち据置期間)		
							年	年	年
28年				貸付年度の為、変更されません		0			
	計					0			
29年					0	0			
	計				0	0			
30年					0	0			
	計				0	0			
元年					0	0			
	計				0	0			
2年					0	0			
	計				0	0			
3年					0	0			
	計				0	0			
4年					0	0			
	計				0	0			
5年					0	0			
	計				0	0			
6年					0	0			
	計				0	0			
7年					0	0			
	計				0	0			
8年					0	0			
	計				0	0			

(2) その他

年	具体的な支出内容	年当たり支出額(千円)
	計	0
29年		0
	計	0
30年		0
	計	0
元年		0
	計	0
2年		0
	計	0
3年		0
	計	0
4年		0
	計	0
5年		0
	計	0
6年		0
	計	0
7年		0
	計	0
8年		0
	計	0

7) 5-8「8 定量的な成果目標及び成果目標を実現するための取組の内容」の『年目』は、成果指標の内容並びに定量的な成果目標の現状値及び借換えの年から起算して5年目までの毎年の目標値なので、年次更新を行っても変更されません。

8 定量的な成果目標及び成果目標を実現するための取組の内容

(1) 定量的な成果目標

成果指標	成 果 目 標					
	現状値 (平成〇年)	1年目 (平成〇年)	2年目 (平成〇年)	3年目 (平成〇年)	4年目 (平成〇年)	5年目 (平成〇年)
〇〇〇						
〇〇〇						
〇〇〇						

※ 成果指標の内容並びに定量的な成果目標の現状値及び借換えの年から起算して5年目までの毎年の目標値を記載すること。

(2) 成果目標を実現するための取組の内容

取 組 内 容	
1年目	
2年目	
3年目	
4年目	
5年目	

※ 成果目標の達成のための毎年の取組内容を具体的に記載すること。

借換えの年から起算している為、  
変更されません